

平成24年3月期第1四半期（連結）の概況

|| 経営成績

当第1四半期連結累計期間の我が国経済は、後半には持ち直しの動きが見られましたが、東日本大震災の影響により生産活動が著しく低下し、総じて低調に推移しました。一方、海外においては、米国、欧州では緩やかながら回復基調が続きました。また、中国では、テンポが緩やかになったものの、底堅い成長が持続しました。

このような経済環境のもと、当社グループにおいては、油圧ショベルの販売台数が、中国において春節明けの旺盛な需要を取り込んだことにより、前年同期を大幅に上回りました。一方、震災により自動車をはじめとした需要家業界の生産活動が低下したことから、鋼材やアルミ圧延品の販売数量は、前年同期の水準を下回りました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、前年同期に比べ139億円増収の4,714億円となりましたが、営業利益は、前年同期に比べ174億円減益の290億円、経常利益は、前年同期に比べ140億円減益の239億円、四半期純利益は、前年同期に比べ101億円減益の98億円となりました。



売上高



4,714 億円

営業利益



290 億円

経常利益



239 億円

四半期純利益



98 億円

※矢印は前年同期比

事業部門別売上高情報

事業部門（セグメント）別の状況は以下のとおりです。

詳細につきましては、当社ホームページ「株主・投資家の皆様へ」に掲載の平成24年3月期第1四半期決算短信をご覧ください。

鉄鋼事業部門



1,956 億円

神鋼環境ソリューション



124 億円

溶接事業部門



216 億円

コベルコ建機



977 億円

アルミ・銅事業部門



793 億円

コベルコクレーン



118 億円

機械事業部門



411 億円

その他



147 億円

資源・エンジニアリング事業部門



124 億円

調整額

△155 億円

調整額は各事業間の内部売上高等の消去額です。

※矢印は前年同期比

郵便はがき